

日米科学技術協力事業「脳研究」分野  
2025年度情報交換セミナー募集要項

日米科学技術協力事業「脳研究」分野における情報交換セミナーを下記により募集します。本セミナーは日米間の研究交流を推進するに当たり、特に新たな研究領域を開拓すると共に、さまざまな研究交流のきっかけとなることを目的とします。

研究協力計画に関連する活動の情報交換を行うため、実施組織は日米両国からそれぞれ10名程度、期間は3～5日間程度とし、日本あるいは米国で開催されるものを対象とします。

なお、実施組織以外の研究者の参加が容易な時期場所等を考慮してセミナーを開催するように配慮願います。

ただし、予算交付が確約されていない時期での募集であることを予めご了承ください。

記

1. 開催年度： 2025年度（2025年6月～2026年2月の間に開催）
2. 研究分野： 脳一般に関する研究（以下に分野を示す）
  - ① 細胞・分子
  - ② 発達・可塑性・修復
  - ③ 行動・システム・認知
  - ④ 疾病の神経生物学
3. 応募資格： 国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する者（科学研究費助成事業の応募資格のある者）
4. 支給経費： ①日本で開催の場合 … 日本人講演者の国内旅費及び会議費  
（\*但し、バンケット代は不可、昼食の弁当は2,000円/人を上限とします。）  
※会議費について、一契約の支払額が80万円を超える場合、自然科学研究機構で入札手続きが必要となる場合がありますので、契約前に必ず「9. 提出先」に記載の連絡先までご連絡ください（連絡なく契約を行った場合、費用をお支払いすることはできません）。  
②米国で開催の場合 … 日本人講演者の交通費・日当・宿泊料  
  
上記の経費について、2,500,000円程度を上限として支給します。  
ただし、米国側代表者においても開催に係る米国側経費負担等の措置を取る必要があります。  
  
※当事業では、国内の若手研究者養成を目的の一つとしており、日本での開催を推奨しています。また、女性研究者の積極的な参加を推奨しています。
5. 選考・決定： 研究計画委員会の審議を経て、分野代表者が決定します。  
（採択結果通知の時期は、2025年1月上旬の予定）
6. 米国側代表者： 応募者は、非公式に米国側代表者と連絡の上で応募ください。

との連絡

また、米国側代表者と緊密な連絡をとりあい、各々の諸般の事情を考慮し、大幅な計画変更が生じることのないよう十分に話し合った上で応募ください。

7. 応募書類： ①情報交換セミナー計画調書（英文）（式3-1） 正本1部  
②BIOGRAPHICAL SKETCH(英文)（様式3-2） 正本1部×2名分  
③相手先との連絡文書 写し1部  
④米国側代表者が米国側申請機関に提出する申請書（英文） 写し1部  
⑤補足資料（特に必要な場合のみ） 写し1部

上記①～⑤までの書類をPDFファイルにて、下記提出先宛に提出してください。

②については、日本側代表者と米国側代表者の2名分を作成ください。  
③については、相手先とセミナー実施の合意がとれていることが確認できる文書を提出願います。

※PDFファイルの提出は、印刷した申請書に署名の上PDFファイルに変換する、もしくはPDFファイルに電子署名する方法のどちらでも可能です。

※応募書類は、<http://www.nips.ac.jp/jusnou/>からダウンロードしていただき、ワープロソフトを使用して文字サイズは10ポイント以上、フォントは「Times New Roman」にて作成してください。

8. 提出期限： 2024年9月18日（水）（必着）

9. 提出先： 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地  
自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課国際係  
TEL: 0564-55-7137, FAX: 0564-55-7119 E-mail: [japan-us-brcp@orion.ac.jp](mailto:japan-us-brcp@orion.ac.jp)

10. その他： 採用された場合、代表者はセミナー終了時に報告書(様式3-3)及び本セミナーに関係する広報用写真を提出ください。また、情報交換セミナーを開催した翌年度の研究成果報告会（2026年11月中旬～12月中旬を予定）において成果報告をしていただきます。  
採択者名及び報告書等はホームページ等に公表されるので、あらかじめご承知おきください。また、本事業の成果を発表する際には、日米科学技術協力事業「脳研究」分野の助成(Japan-U.S. Brain Research Cooperation Program)を受けて行った研究の成果であることを表示ください。

11. 参考： 米国側参考ホームページアドレス <https://grants.nih.gov/grants/guide/pa-files/PA-17-326.html>  
日本側参考ホームページアドレス <http://www.nips.ac.jp/jusnou/>

12. 注意事項： 米国側代表者から米国側事務局への申請も必要となります。

過去に助成を受けた者が再度応募する場合は、様式3-1「6) Content and Purpose of the Seminar including Topics, Names of Speakers, and Tentative Agenda」に、その必要性と理由を明確に記載ください。

本応募の前に、様式3-1に準じた企画趣意書（日本語A4 1枚）をご提出いただければ、米国側との調整など本申請に係る諸事ご相談に応じ

ます。

連絡先：生理学研究所 研究計画委員会委員長

# 米科学技術協力事業「脳研究」分野（情報交換セミナー）フ

1 情報交換セミナー公募

2 情報交換セミナー計画の策定

日本側：情報交換セミナー代表者（申請者）

米国側：情報

- 非公式に米国側代表者と連絡の上、申請書を作成（事前に委員長に E-mail で連絡して、企画趣意書を提出）

申請書（様式 3-1）【英文】及び（様式 3-2）【英文】を作成し、米国側提出の申請書類（英文）の写しを添付の上、提出。

計画  
調書

- 申請書を日米双方、日米科学技術協力事業「脳研究」分野事務局へ提出

（日本側代表者は日本側事務局へ、米国側代表者は米国側事務局へ、提出）

3 応募（申請書等の提出：9月受付締切）

日米科学技術協力事業「脳研究」分野代表者  
生理学研究所長 鍋倉 淳一

米国側：

事務局：自然科学研究機構  
岡崎統合事務センター国際研究協力課国際・研究支援係

4 日米事前打合せ（非公式）

日米合同での実施事業の評価

5 研究計画委員会（審査会）（11月中旬～12月中旬頃開催）

6 情報交換セミナー審査結果の通知（2025年1月上旬）

7 日本側：情報交換セミナー代表者（申請者）

米国側：情報交

- 開催準備

8 情報交換セミナー開催（6月～2月の間に開催）

9 情報交換セミナー報告書の作成

日本側：情報交換セミナー代表者（申請者）

米国側：情報交換セミナー代表者

- 米国側代表者と共同で情報交換セミナー報告書（英文）（様式 3-3）の内容を作成

報告書  
【英文】

報告書（様式 3-3）【英文】、  
広報用写真を提出

- 報告書を日米双方、日米科学技術協力事業「脳研究」分野事務局へ提出  
（日本側代表者は日本側事務局へ、米国側代表者は米国側事務局へ、提出）

10 日米科学技術協力事業「脳研究」分野代表者  
生理学研究所長 鍋倉 淳一

米国側：情報交換セミナー事務局等

事務局：自然科学研究機構  
岡崎統合事務センター国際研究協力課国際・研究支援係

11 日米科学技術協力事業「脳研究」分野ホームページで公開

12 情報交換セミナー実施翌年度に研究成果報告会において報告

（自然科学研究機構事務局（東京都港区）※予定：2026年11月中旬～12月中旬）